季刊 えこびと

第30号
2018年10月

「エコットキッズタウン 2018」の様子（Ｐ２に続く）

Ｐ＆Ｐ特選句

７月　波を進ひ波に進はるる水着の子　（光彦）
８月　彼岸花律儀な父の墓地に咲く　（光州）
９月　語り部の琵琶切々と虫の闇　（虹村）

＊Ｐ＆Ｐは俳句や川柳づくりを楽しむ eco-T の利用団体です。

特集　エコットキッズタウン 2018

活動報告　共働事業 / 小冊子作成ワークショップ実施中！
フォトレポート　リユースフェスタ
市民活動団体紹介　高橋アスパの会
エコ人からのお知らせ

この季刊誌は持続可能で豊かな地域社会（エコライフとよた）の実現を目指す
NPO 法人とよたエコ人プロジェクトが発行しています。

特集　エコットキッズタウン 2018

８月１日（水）～３日（金）に、エコットキッズタウン 2018 を開催しました。今年で 10 回目となるエコットキッズタウン。例年に負けないぐらい、たくさんの子ども達が参加し、賑わいをみせました。

イベントの様子

このイベントは、eco-T 内につくった模擬的なまちで、子ども達が銀行員や警察官、環境局員など様々な職業に就き、社会の仕組みや環境に配慮することの大切さを学ぶイベントです。今年も子ども達が様々な仕事を体験しました。

情報局でエコ新聞づくり

敬礼の練習をする警察官！

今年の最大の特徴は、まちの中に「がっこう」ができたこと。子ども達は、まちで仕事をする合間に「がっこう」に行って様々な「じゅぎょう」を受けることができました。「じゅぎょう」は、３日間で７種 24 回開催しました。エコ調理やエコ工作など、楽しい体験を通して、環境についてしっかり学べる内容になりました。

―「じゅぎょう」タイトル一覧―

①つくって学ぼう３Ｒ
②ごみモンスターをやっつけろ
③水のお話とスイーツラボ
④海ごみとペットボトル工作
⑤エコゲームであそぼう
⑥牛乳パックでおもちゃをつくろう
⑦金属ごみのゆくえ～オリジナルハンガーをつくろう～

環境レクチャーの様子

エコ調理の様子

また、親子向けプチ講座の開催やイベントの事前参加受付の実施など、今までのキッズタウンにはない新しい試みも行いました。

エコットキッズタウンを開催するにあたり、今年も大人実行委員会と子ども実行委員会を立ち上げました。大人実行委員会では、今年も多くのインタープリターが参加し、活発に意見を出し合いました。子ども実行委員会では「エコなまちってどんなまち？」というテーマで子ども達が話合い、出てきたアイデアの一部を反映させました。例えば、環境局でうちわを作って利用してもらうなど、ステキなアイデアがたくさん出ました。

環境局がつくったうちわ

今年も子ども達が楽しみながら様々なことを学び、とても良いイベントになりました！

（eco-T 事務局　住田雄佑）

活動報告　　共働事業 / 小冊子作成ワークショップ実施中！

★リサイクルステーション用小冊子を、みんなのアイデアでつくりませんか！？

この事業は、昨年度「豊田市共働事業提案制度」の行政テーマ設定型の事業として「リサイクルステーション用の小冊子を作る事業」を提案したところ、採択され実施しています。

皆さんは、ごみを出す時に正しい出し方が分からず仕方なく燃やすごみに出してしまったり、リサイクルステーションで間違った出し方をしてしまったために注意を受けたり…といったこと、ありませんか？そういった問題を解決するために、私たち市民のアイデアを結集して、便利で見やすい小冊子を作ります。これまで２回、楽しく話しあいながら、小冊子の中身について意見を出し合いました。

第１回(8/29)と第２回(9/20)ワークショップ　　会場：eco-T２階多目的室　参加：各回 10 名

～小冊子に何を載せたらいい？　主に出てきたご意見～

・子どもでもわかるイラストをつかって見やすいものに。
・子どもから親に伝わっていくような仕組みができたら。
・分別がわかりにくいものを中心に載せたらどうか。
・分別したものが、今後どのようになるのかわかるように。
・間違って出している物ベスト 10 のようなものはどうか。
・どこのステーションも回収品目を同じにしてほしい。
・市民全員が冊子を持っていることが自慢になると良いな。

第３回(10/28)ワークショップ　　会場：eco-T２階多目的室　参加：７名

～出す時に困るものは何？　主に出てきたご意見～

・新聞に入っているチラシと郵便物のチラシ。分けて出す？
・プラスチック容器包装とプラスチック製品がごちゃ混ぜになっている。正しい分別がわかりづらい。
・古布類で種類によって回収できないものがある（ハンカチ・ネクタイ・風呂敷など）が、理由がわからない。
・食用油の瓶の汚れはどの程度までとる？

■日時　**第４回ワークショップ　11 月 23 日（金・祝）午前 10 時～12 時**
　　第５回ワークショップ　12 月 15 日（土）　午前 10 時～12 時
■会場　豊田市環境学習施設 eco-T(エコット) ２階 多目的室
■対象　18 歳以上
■定員　先着 30 人（会員・非会員問いません）
■内容　分別に困っていることや冊子に載せる内容を話し合います。
　　２回にわたって、デザイナーが作成した小冊子のデザインを基に、改善案を出し合います。
■参加　無料
■申込方法
　第４回ワークショップ　**11 月６日（火）10 時から**
　第５回ワークショップ　**12 月５日（水）10 時から**
　豊田市環境学習施設 eco-T(エコット)事務局　**電話（0565－26－8058）で申込みを受付けます。**

（eco-T 事務局　長内隆久）

フォトレポート　　リユースフェスタ

10 月 14 日（日）、eco-T にてリユースフェスタを開催しました。

2013 年にエコットフェスタの中のブースとして始まったリユースイベントも、６回目となりました。昨年は開館 10 周年記念イベントとして単独イベントとして開催しました。

リユースフェスタで提供されるリユース品はすべて市民のみなさんに持参してもらっています。今年は子ども服のサイズの仕分けもインタープリターと一緒に実施しました。

９月 15 日（土）から 10 月８日（月）にかけて行った事前回収では、陶磁器等 961 ㎏、子ども服　3,542 枚、書籍 1,073 冊が集まりました！新聞等で大きく報道をしていただいた昨年よりは総量は減少しましたが、質のよいものが多くなった印象です。

リユースフェスタ当日は晴天にも恵まれ、朝からたくさんの方が来場！朝イチには会場前に行列もできました。

特に子ども服は大人気です。10 時のオープンと同時にお母さんたちがダッシュ！「母は強し」という言葉が浮かびます（笑）

熱気あふれる会場内の様子

リユース工房の特別企画「出張！リユース工房抽選即売会」　通常は入札方式のリユース工房ですが、この日は抽選即売！　リユース家具には 300 円均一の値段がつけられており、購入を希望する人は抽選に応募していただき、見事当選の方に購入いただくという仕組みです。15 点が完売、リユース工房本館にもたくさんの来館がありました。ＰＲ効果はばっちりだったようです。

リユースフェスタでは、持ち帰る際に１点 10 円以上の寄付をお願いしました。寄せられた募金は 50,906 円。今年は豊田市社会福祉協議会を通じ、歳末助け合い募金への寄付をしました。

これからもごみ減量のため、「３Ｒ」の意義を市民に伝えていきたいですね！

（eco-T 事務局　福間陽子）

市民活動団体紹介　　高橋アスパの会

今回は自然循環型地域社会を目指す「高橋アスパの会」です。会発足は平成 14 年 15 名の会員で設立。28 年には 15 周年を迎えました。現在会員 110 名。ぼかしを自ら作り、それを利用して市民農園「菜遊ファーム」を運営。アスパとは、発酵合成型有機肥料のことです。米ぬか、もみ殻、糖蜜などに EM 菌（有効微生物群）を混ぜ合わせ、発酵乾燥させたものです。生ごみにアスパを振りかけると、EM がごみを腐敗させずに発酵させるため、いやな臭いがなくなり、ハエなどの発生も防ぐことができます。約 10 日間で有機肥料に変わり、庭木や菜園の肥料として利用できます。

※アスパ…アンスメル、パウダーの略。臭いを消す力の意味。

●アスパの会を立ち上げたきっかは？

ごみステーションの立哨をしていて、生ごみの多さや出し方に疑問を感じました。ちょうど豊田市でもごみの分別収集が始まった頃だったと思います。昔は生ごみが家畜の餌になったり、肥料として使ったりと循環していました。このことを思い出し、始めは４人で武豊町や名古屋市まで数回にわたり研修に行き「ぼかし」を自分たちで作る活動を始めました。これをアスパ第１号とし各家庭で生ごみの処理用のぼかしを会員みんなで参加して作りました。

●現在の活動は？

各家庭で生ごみを処理するための「アスパ第１号」を年間８トン作っています。また自宅で生ごみ処理ができない人のために、有機肥料「アスパ第２号（有機肥料の米ぬか、油粕、鶏糞、魚粉などと EM 活性液をブレンドして１ヶ月間発酵させたもの）」を３トン作っています。また有機肥料を使って「都市型市民農園菜遊ファームアスパ上原」を 24 年に開園。その後、元宮・長興寺を順次開園し、現在３ヶ所 78 区画開園しています。これらは豊田市との共働事業として行なっています。

平成18年度視察研修会
無農薬と完全EM有機肥料使用のリンゴ園圃場

年間通して農業研修、青空教室など開催し野菜作りのスキルアップや収穫祭はもちろんのこと、それ以外にも新年会や忘年会を開催し、コミュニケーションを深め、会員皆が楽しく活動をしています。

●今後の活動に期待することは？

15 周年を機に「自然循環型社会を目指す」から「農福連携型地域社会を目指す」ことをプラスしました。精神・知的障がい者とともに土と緑にふれあい、農業に対する理解を深め、仲間づくり、生きがいづくりに役立てばと活動しています。安全で安心して食べられる野菜を自分で育てて食することは大きな喜びに繋がります。

●市民へのメッセージは？

最近は消費型社会で「もったいない」という気持ちが薄れていると思います。捨てるもの、無駄なものはありません。産業廃棄物でも再利用できるものがたくさんあります。ちょっとした知恵と工夫と手間をかけることで循環型社会が生まれます。皆さんも今の暮らしを振り返って「もったいない」を探してみませんか。

（インタビュアー　守随純子）

エコ人からのお知らせ

新しいスタッフの紹介

■荒木季子（あらきとしこ）さん

このたび、縁あって7月よりリユース工房でお仕事させていただいております。

むかしから書道を続けてきたこともあり字を書くこと、特に手紙を書くことが趣味です。時々ですが、遠く離れて暮らす両親に手紙を書いているときが一番好きです。

事務職しか経験がない私ですが、『人との繋がり』そして『笑顔』を大切にしてひとりでも多くの方にリユース工房を PR できたらなと思います。

よろしくお願い致します。

とよたエコ人プロジェクトの会員になりませんか？

当法人は、今年度、設立 10 周年を迎えます。（2009・3・19 設立）

会員等を対象に、楽しい 10 周年記念行事を計画しています。現在、アイデア段階ですが、**記念レセプションや研修旅行等を企画中**です。

また、来年度からは、**正会員の特典を大幅に拡大**します。現在の e-cafe のコーヒーチケット３枚プレゼントに加え、「ふるさと納税」に習い、**会費の３割程度の地産地消の品物をプレゼント**することを検討中です。これを機会に

『楽しい＆エコ』なくらし、
いっしょに始めませんか♪

【会費】

正会員	10,000 円（議決権あり）	
賛助会員	一般	1,000 円/口
	非営利団体	3,000 円/口
	営利団体	10,000 円/口

※エコ人の年度は６月～５月です。

編集後記

季節が変わり、あんなに暑かったのが嘘のように肌寒い日が続いています。今年は異常気象のためなのか酷暑や台風で大変な夏になりましたね。こんな状態が続かないよう、より一層環境に配慮した行動をとらねばと思い今日も仕事を頑張っています。

（eco-T 事務局　住田雄佑）

発行・編集　NPO 法人 とよたエコ人（びと）プロジェクト

〒471-0034　豊田市小坂本町６丁目５番地２　シティハウス NAGASAKI 43　107 号

メール：info@t-ecobito.jp

当法人ホームページ：http://t-ecobito.jp/

eco-T ホームページ：http://www.eco-toyota.com/

eco-TFacebook ページ：https://www.facebook.com/ecotoyota/

当法人ホームページ　eco-T ホームページ　eco-T Facebook ページ